

生後 1 か月の顔面浸出症状と全身湿疹を経て 6 か月後に皮膚状態が整った幼児アトピーの経過 (1 歳 幼児)

症例 ID：001-01-TU | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

生後 1 か月頃から頬を中心に顔面湿疹が出て、約 3 か月後には頬の浸出、耳切れ、寝具への出血がみられました。外用薬で一時的に軽減しましたが、腕、腹部、下腿へ湿疹が広がりました。

生後 4 か月頃に松本医院を受診し、消毒、漢方入浴、外用処置を 1 日 2 回行いました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイドを含まないと説明された外用薬を使用しましたが、実際の成分は不明です。
製品名	アンダーム、その他 2 種類の外用薬（製品名不明）です。
強度	ステロイド使用は確認できません。
使用期間	生後 1～4 か月頃に断続的に使用しました。
中止時期	松本医院受診前に中止しました。
来院前／後	来院前のステロイド使用は確認できません。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 1 か月	発症	頬から顔全体へ湿疹が広がりました。
生後 4 か月頃	顔面悪化	頬の浸出、耳切れ、寝具への出血がみられました。
同時期	全身拡大	腕、腹部、下腿へ湿疹が広がりました。
受診後	治療開始	消毒、30～40 分の漢方入浴、外用処置を 1 日 2 回開始しました。
治療 3 日～1 週間	初期変化	顔面の赤みと全身の凹凸が徐々に滑らかになりました。
治療約 1 か月	改善期	白い皮膚が戻り、見た目が大きく変化しました。
治療約 6 か月	経過後	食物による一時的な湿疹は約 1 週間で軽減し、入浴頻度を状態に合わせて調整できるようになりました。

4. ピーク時期

ピークは、頬が浸出して耳切れと出血が生じ、腕・腹部・下腿へ湿疹が広がった時期です。

5. 困りごと

- 顔面の浸出と出血により、日々の処置が必要でした。
- 乳児の長時間入浴では、のぼせや機嫌に注意する必要がありました。

6. 経過のまとめ

顔面の浸出と全身湿疹がみられましたが、治療開始後 1 週間頃から皮膚が滑らかになり、約 1 か月で見た目が大きく変化しました。約 6 か月後には、症状に合わせて入浴頻度を調整できる状態となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。